

長歯連盟だより

平成30年2月5日 (第48号)

発行所：長崎県歯科医師連盟

〒852-8104 長崎市茂里町3番19号

☎095(848)5311 FAX(846)0175

編集兼発行人：田口知義

新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 会長 宮口 巖



新春を迎え、会員ならびにご家族の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃より連盟活動に対し多大なご支援、ご協力、またご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年10月の第48回衆議院議員総選挙では、会員の皆様のご協力により、長崎県全選挙区において、我々長崎県歯科医師連盟が推薦した4候補者が無事当選を果たしました。今後とも各議員に対して、県勢浮揚と歯科医師会の政策実現に向けての協力を働きかけて参りたいと思います。

県政においては、長崎県知事選挙が1月18日に告示、2月4日に投開票されました。本連盟としては、現職の中村法道知事より推薦願が提出されましたので、直ちに持ち回り理事会を開催し、推薦を決定したところです。

本年4月の診療報酬改定について、長年の懸案事項である特定薬剤の算定方法について、いわゆる歯科の「40円ルール」を医科と同様に「15円ルール」に変更する方針が、去る12月13日の中医協総会で了承され、歯科にとって不公平なルールがようやく見直されることになりました。診療報酬の改定率は、本体が0.55%の引き上げ、薬価が1.45%の引き下げ、全体で0.9%のマイナス改定となりましたが、本体部分の内訳については、これまでの医科・歯科・薬剤の比率(1:1.1:0.3)が維持され、歯科の改定率は0.69%の引き上げとなりました。これは金額にすると約200億円に当たり、従来から日本歯科医師会 堀 会長が主張していた引き上げに相当することになり、日頃からの日歯、日歯連盟の粘り強い活動の成果であると評価できるものと考えているところでございます。

また、去る12月22日の政府閣議において、国民の歯科口腔保健の向上を担っている厚労省の歯科口腔保健推進室が、現在の「訓令」室から「省令」室に昇格することが決定しました。このことは、日本歯科医師会が平成25年以来、継続して国へ要望してきた項目であり、これまでの努力が結実した結果です。この結果、同室が、省庁間の横断的な連携や地域包括ケアシステムの推進に向けて大きな役割を果たし、我が国の歯科医療行政の充実につながるものと期待されます。

一方、日本歯科医師連盟の迂回寄付事件のその後の経過ですが、村田元副理事長及び高木元会長、堤元会長、日歯連盟の裁判は、証人及び被告人尋問がほぼ終了し、本年5月頃までには全ての判決が出る予定です。どのような判決になっても、検察側、被告側ともに控訴することが予想されており、判決が確定するのはしばらく先になると思われま

す。歯科界の明るい未来を構築するためには、国民皆保険制度の堅持、歯科保健医療の充実、税制改正に関する要望、歯科医師の需給問題の解決など、政治の力が不可欠であることは明白です。会員の皆様におかれましては、このような連盟活動の重要性をご理解いただき、引き続き、長崎県歯科医師連盟へのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新年ご挨拶

長崎県知事 中村 法道



新年明けましておめでとうございます。

平成の世も30年という節目の年に当たり、皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、V・ファーレン長崎のJ1昇格、本県初開催となった「第71回全国茶品評会」での農林水産大臣賞及び産地賞の受賞、「朝鮮通信使に関する記録」のユネスコ「世界の記憶」への登録など、県民の皆様のご努力が多く実を結んだ年となりました。関係の皆様改めて敬意を表します。

さて、本年は長崎県総合計画も3年目を迎え、折り返しの年となります。これまで以上に各市町、企業や団体、地域の皆様方と思いをひとつにして、県民所得向上や良質な雇用の場の拡大、地域と産業を支える人材の育成などに積極的に取り組みながら、若年層の県内定着やU I Jターン対策、結婚・子育て支援などの人口減少対策を多面的に展開し、県民の皆様にご具体的な成果を実感していただける年にしたいと決意を新たにしております。

特に、人口減少が著しい離島地域の振興については、本県選出国会議員の皆様の尽力により成立・施行された有人国境離島法に基づき、安定した雇用の場の創出・拡大に取り組んでいるところであり、引き続き、市町をはじめ地域の皆様と知恵を出し合い、国の交付金を最大限に活用しながら地域の活性化に全力を注いでまいります。

九州新幹線西九州ルートについては、導入予定のフリーゲージトレインの開発に不具合が生じたことから、「九州新幹線（西九州ルート）検討委員会」において、本年3月末を目処に国土交通省から報告される整備方式ごとの調査結果を踏まえ、どのような方式で整備を進めていくかできる限り速やかに一定の結論を得ることとされたところです。県としては、現在フル規格で整備中の武雄温泉～長崎間のインフラを最大限に活かし、山陽新幹線直通運行による関西・中国圏との交流拡大を図るためにも、全線をフル規格で整備することが最善の選択肢だと考えており、関係の皆様と一体となって、その実現を目指してまいります。また、昨年11月には長崎駅の駅舎デザインも示されたところであり、この新たな駅が県民の皆様や来訪者に親しまれ、長崎の新しい顔となることを期待しております。

さらに本年は、6月に開催される世界遺産委員会において、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録の可否が審議されます。世界遺産登録の実現に向けて、引き続き国や関係自治体と連携を図りながら全力を傾注してまいります。

佐世保地域の特定複合観光施設（IR）区域整備については、ギャンブル依存症対策に万全を期すとともに、日本型IRの導入を外国人観光客誘致の好機ととらえ、魅力的な施設整備を進め、地方創生に寄与するものにしたいと考えております。引き続き、県民の皆様のご意見を伺いながら、本県にしかできない国際競争力のあるIRの導入実現に向けた基本構想の策定を進めてまいります。

アジア・国際戦略については、昨年、中国・福建省では、本県に渡来後わが国に多大な影響を与えた隠元禪師ゆかりの日中黄檗文化交流大会を開催し、交流を深めました。ベトナム・ホイアン市では、民間の皆様と協力して寄贈した「御朱印船」の公演を行うとともに、日越両国首相が立ち会う中、「日越文化スペース」

の落成式でもお披露目し、ベトナムと本県のゆかりを広く周知しました。今後とも、本県と海外との歴史的なつながりを大切にしながら、人的交流や経済交流の拡大に努めてまいります。

新年からは、いよいよ新しい県庁舎が始動します。本県が直面している様々な課題の解決に向け、これまで以上に県民の皆様と力を合わせて取り組んでいかなければならないと考えております。新県庁舎を行政と県民の皆様との協働の拠点とし、夢と希望に溢れる長崎県づくりに全力を注いでまいりますので、県政への積極的なご参画をお願いいたします。

結びに、この1年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



新 年 の ご 挨拶

昨年は連盟の円滑な運営にご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

本年も何卒よろしくご指導ご協力の程お願い申し上げます。

平成30年2月

長崎県歯科医師連盟

会 長	宮 口 嚴	常任理事	森 太	理 事	山 口 伸 二
副 会 長	品 川 光 春	同	吉 田 敏	同	池 田 守
同	村 橋 秀 夫	同	長 富 正 博	同	南 幸 治
同	山 田 雅 弘	同	末 吉 孝 夫	同	木 原 功 喜
同	松 島 俊 一 郎	同	原 安 生	監 事	宮 崎 宏 延
同	中 村 康 司	同	山 卒 英 一	同	坂 口 秀 平
同	高 木 浩 司	同	日 野 直 樹	顧 問	南 幸 夫
理 事 長	田 口 知 義	同	西 田 耕 也	同	音 山 泰 宏
常務理事	中 村 淳	理 事	大 坪 克 安	同	許 斐 義 彦
常任理事	渋 谷 昌 史	同	大 浦 泰 満		
同	田 中 靖 彦	同	江 田 和 夫		

新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 副会長 松島 俊一郎



新年明けましておめでとうございます。

連盟会員の先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、国会では森友・加計問題で紛糾し、都知事選では小池ブーム、某女性代議士の「違うだろ～、違うだろ!」「このハゲ～」あり、また「一線を越えていない?」など、国外ではトランプ大統領の就任、北朝鮮のICBM、金正男殺害、韓国の慰安婦像に加え徴用工像問題など、色々ありました。このような中行われた衆議院の解散で、世間では大義なき解散といわれるも、自民党圧勝という結果となりました。

また、天皇陛下の生前退位ということで、いよいよ来年4月30日、平成も終わりを告げます。「平成生まれ＝若者」と思っていた私たち昭和世代ですが、次の世代から見ると完全に昔の世代に見られるようになるのでしょうか。来年は天皇誕生日が無い（今上天皇12月23日生、皇太子2月23日生のため）ことになりませんが、昭和から平成に変わる日（改元の日）は当年だけお休みでした。ということは来年のゴールデンウィークが長い人は11連休になるとか、怖いですね。ただでさえ、休日が増え、あの8月11日の「山の日」、お盆前に邪魔くさくて、そう思っているのは私だけではないと思います。どうせ8月に休みにするのであれば、終戦記念日15日に、二度と戦争を起こさない不戦の誓いとして「平和祈念日（山の日）」とし、15日のお盆は故郷で墓参りを行うような文化を再興し、日本人の先祖を敬う心、情操教育の上でも、また諸外国に対しても平和国家をアピールできると思うのですが、いかがでしょうか。

さて、歯科界におきましては、昨年12月1日より下顎6番のCAD・CAM冠が保険導入されました。診療報酬改定時期ではない期中導入されるのは前回のファイバーコアに続き画期的なことです。地道な歯科医師会、連盟の活動が評価されている証拠であろうと考えられます。

次年度の国家経営の基本方針となる「骨太の方針」の『健康増進・予防の推進』に「口腔の健康は全身の健康にもつながることから、生涯を通じた歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実に取り組む」という文言が初めて明記されました。歯科界にも微風が吹いてきています。

今後とも、連盟会員の先生方のご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



新 年 の ご 挨拶

長崎県歯科医師連盟 副会長 中 村 康 司



明けましておめでとうございます。連盟会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私は昨年7月より、宮口巖連盟会長のもと、連盟副会長を仰せつかりました。私自身初めての連盟役員であり、大変光栄に存じますとともに、身の引き締まる思いであります。また、諫早市歯科医師会にとりましても大変意義深いことと感じております。不慣れな役ではございますが、精一杯務めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、歯科医師会と連盟の活動は、良く車の両輪に例えられています。歯科医師は、診療所や歯科医師会の活動を通じて歯科保健・医療・福祉を実践し、ひいては国民の健康づくりに寄与していくことを本分としています。一方で、これらを具体的な法律や施策、事業として形にしたり、診療報酬として相応の評価を得たりするためには、連盟活動が大変重要であることは言うまでもありません。市政、県政、国政それぞれのステージにおける活動が求められることとなります。国政において新聞報道によれば、今春の医療介護同時改定で診療報酬は、全体では0.9%のマイナスであるが、本体部分は0.55%引上げとのこととあります。また、平成29年12月22日付の日歯発第1561号によれば、現在は訓令室である歯科口腔保健推進室を省令室に昇格することを閣議決定したとのこととあります。これらは、車の両輪の真摯な活動の成果の典型的な例であると言えるのではないのでしょうか。

平成29年10月27日に開催された連盟常任理事会（中村法道県知事との懇談会）は、数多くの歯科界が抱える問題を、県民の歯科保健向上の観点から知事ご本人に直接要望し理解を求め、具現化に近づける作業で大変有意義な会となりました。新年最初の任務は、この願いをした現職中村知事を三たび長崎県のかじ取りの責任者とするために、当選に向けて支援の輪を広げることとあります。この挨拶が、皆様のお手元に届くころには、きっと良い結果が報告されていることと信じております。

結論として

- 1) 諫早市においては、地域歯科保健医療福祉の充実と市民の健康づくりに寄与する活動
- 2) 長崎県歯科医師会、県歯科医師連盟・県政レベルでの課題解決のための連盟活動
- 3) これら1) 2) の活動を通じて、日歯・日歯連盟・国政レベルで成果として具現化するために、職域代表の国会議員を支援する活動

以上を念頭に、連盟活動においても精進して参りたいと考えております。会員の皆様の絶大なるご理解、ご協力の程よろしく願い申し上げます。



新年のご挨拶

長崎県歯科医師連盟 副会長 高木 浩 司



輝かしい希望に満ちた平成30年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては日頃より連盟活動に対し多大なるご支援とご協力を賜りお礼申し上げます。

昨年、10月22日投開票の第48回衆議院議員総選挙におきまして、本連盟が推薦した富岡 勉、加藤寛治、谷川弥一、北村誠吾候補者全員が当選できました。会員の皆様には絶大なるご支援を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

さて、昨年6月に骨太方針2017で「口腔の健康は全身の健康にもつながることから、生涯を通じた歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実に取り組む」と初めて歯科のことが明記されました。このことは歯科医療および口腔健康管理が全身の健康の維持・増進を行い、生活機能を高めることを政府が認めた画期的なことです。さらに、12月22日には歯科口腔保健推進室の「訓令室」から「省令室」への昇格が閣議決定されました。今後、厚生労働省の各部局内だけでなく、内閣府、文部科学省、経済産業省など関係省庁の中でも歯科口腔保健の推進に関する取組が期待されます。労働安全衛生法をはじめさまざまな関連法の改正など、決して容易なことではありませんが、「国民皆歯科健診制度」の実現を目指す足掛かりができたのではないのでしょうか。

平成30年度の国の歯科保健関係予算ですが、11億9千万円と昨年の約2.8倍であり、特に「新しい日本のための優先課題推進枠」を活用した歯科健康診査事業や入院患者等への歯科口腔機能管理等研修に関する事業提案が5億4千万円となりました。

本年4月の診療報酬、介護報酬同時改定では歯科診療報酬本体は前回の0.61%を上回る0.69%のプラス改定となりました。改定財源の配分も「医科：歯科：調剤」「1：1.1：0.3」も堅持され、歯科には傾斜配分が決定し、中医協の総会ではいわゆる「40円ルール」の見直しも了承されました。

このように、このところ逆風の歯科界にも明るい兆しが見え始めているのではないのでしょうか。これら一つ一つの実現には政治の力すなわち連盟組織が重要な役割を果たしていることをご理解いただき、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が会員の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



連 盟 常 任 理 事 会 中村法道県知事との懇談会

日時：平成29年10月27日(金) 午後6時30分

場所：長崎市「サンプリエール」5F エトワール

長崎県歯科医師連盟理事長 田 口 知 義

去る10月27日、長崎市のサンプリエールで、中村法道県知事を迎え、長崎県歯科医師会の各種課題に対する要望及び意見交換をすることを目的に連盟常任理事会を開催した。以下、当日の内容について、概略を報告する。

1. 開 会 (田口理事長)

2. 挨拶

長崎県歯科医師連盟会長 宮口 巖

中村知事におかれましては、公務ご多忙の中、我々歯科医師会のため貴重なお時間を割いて、ご出席を



賜り厚く御礼を申し上げます。また、連盟の役員の方におかれましては、診療でお疲れのところ、ご参集いただき感謝申し上げます。

中村知事は、県知事就任以来、一貫して「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」の基本理念の下、その実現に向けて、強い情熱と深い識見を持ってご活躍されていることに深く敬意を表したい。

この基本理念の下、九州新幹線西九州ルートの実現に向けた推進、諫早湾干拓事業の開門問題、石木ダム問題への対応等々、山積する難題、課題の解決、実現に向け引き続き尽力をお願いしたい。

また、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連施設」の世界遺産登録に向け取り組んでいただいております、世界遺産を中心とした本県の観光プロモーションの展開に期待している。

中村知事のご理解、ご尽力により、長崎県が推進している「フッ化物洗口推進事業」について、本年度末までに県下の小学校で、ほぼ100%達成するとの報告を受けており、歯科医師会としても、幼稚園、保育所への働きかけを積極的に行い、県下100%達成に向けて引き続き協力させていただく。中学校においても、本年度より本格的に取り組んでいただいているところである。



先般の衆議院選挙においては、長崎県歯科医師連盟の推薦する議員が全員当選する結果となった。一方、知事の任期が平成30年3月1日に任期満了を迎えるが、是非とも3選へのご出馬をお願いしたい。我々歯科医師会も出来る限りの協力をさせていただくので、是非出馬に向けて前向きなご判断をお願いしたい。

長崎県知事 中村 法道

本日は、長崎県歯科医師連盟役員の方との懇談の場にお招きいただき感謝申し上げます。

宮口会長はじめご出席の方には、それぞれの地域の歯科保健、医療の向上のためにご尽力をいただ



いき、また県政の抱えるさまざまな課題に対してもご理解、ご支援をいただいていることに感謝を申し上げます。

フッ化物洗口推進事業は平成25年度より取り組んできたが、平成29年度末までには小学校で100%実施の見込みである。中学校においても、平成29年度より本格的に実施しており、歯科医師会においては力添えをお願いしたい。

高齢化の進展に伴い医療環境も変化している。その中で、口腔衛生を進めることが生活の質を高める上で、必要不可欠な分野となっていると認識している。県民の質の高い生活を実現し、安心して医療サービスを受けることができる環境を作っていきたい。

知事選への出馬については、まだ最終的な決断をしていない。衆議院総選挙が実施された関係で表明する時期が遅くなっている。しかるべき時期に決断を表明させていただく。

3. 出席者紹介

当日の出席者は次のとおり。

役 職	氏 名	役 職	氏 名
長 崎 県 知 事	中 村 法 道	長崎県歯科医師連盟常任理事	原 安 生
長崎県歯科医師連盟会長	宮 口 厳	同	山 本 英 一
長崎県歯科医師連盟副会長	品 川 光 春	同	西 田 耕 也
同	村 橋 秀 夫	福江南松歯科医師会会長	山 田 和 道
同	山 田 雅 弘	対馬市歯科医師会会長	大 浦 泰 満
同	松 島 俊 一 郎	壱岐市歯科医師会会長	赤 木 昭 彦
同	中 村 康 司	長崎県歯科医師連盟顧問	南 幸 夫
同	高 木 浩 司	同	音 山 泰 宏
長崎県歯科医師連盟理事長	田 口 知 義	同	許 斐 義 彦
長崎県歯科医師連盟常務理事	中 村 淳	長 崎 県 議 会 議 員	大久保 潔 重
長崎県歯科医師連盟常任理事	渋谷 昌 史	長崎県歯科衛生士会会長	山 口 と き 子
同	田 中 靖 彦	長崎県歯科衛生士会専務理事	田 中 朝 子
同	森 太	長崎県歯科衛生士連盟会長	下 濱 佐 都 美
同	吉 田 敏	長崎県歯科技工士会会長	土 肥 学
同	長 富 正 博	長崎県歯科技工士会会長	福 井 淳 一
同	末 吉 孝 夫		

4. 中村知事との意見交換

(1) 健康寿命の延伸と医療費削減における歯科保健政策の充実について（長崎県歯科医師連盟）

- ・品川副会長から説明

(中村知事 回答)

- ・県民の健康を維持する上で歯科の重要性は理解している。
- ・次期の歯科保健計画（歯なまるスマイルプラン）にその点は反映させたいと考えている。
- ・成人期の歯科保健の充実、歯周病健診実施率の向上に向けた施



策の充実を検討していきたい。

(2) 地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について（長崎県歯科医師連盟）

- ・ 渋谷常任理事から説明

歯科衛生士養成に向けて、奨学金制度等、若い世代が医療・介護の分野を志すための経済的事業実施に向けてご検討いただきたい。

(中村知事 回答)

- ・ これまでも、基金事業で離職した歯科衛生士の再就職支援事業、医科歯科連携に関する研修、歯科衛生士育成のため設備整備事業などに財源を充てている。
- ・ 今年度も新たに歯科衛生士養成所の設備整備に対しても支援を行っている。
- ・ 今後も人材の確保のために、養成学校が取り組む設備面での施策の充実に取り組んで参りたい。



(3) 行政による歯科衛生士専門学校学生への奨学金充実のお願い（長崎市歯科医師会）

- ・ 村橋副会長から説明

(中村知事 回答)

- ・ 在宅における口腔ケアの需要は今後益々増大していくものと考えられる中で、歯科衛生士単独での在宅の口腔ケアは認められており、訪問歯科診療を担う歯科衛生士の人材育成は重要であると考えている。
- ・ 県外への流失を防止する意味で、奨学金制度の充実も一つの選択肢として考えていかなければならないと考えている。
- ・ 他県の状況や歯科衛生士の就職状況等を見ながら、医療関係団体と相談を行い、奨学金を充実させるべきか、他の施策が有効かよく研究して参りたい。



(4) 県市町の行政職に歯科専門職(歯科衛生士)を配置または増員することについて（長崎県歯科医師連盟）

- ・ 渋谷常任理事から説明

(中村知事 回答)

- ・ 現状では市町から歯科専門職が不足しているという話が出ていない。
- ・ 歯科保健の充実に向けて歯科専門職の配置、増員が必要ではと考えている。各市町にも働きかけて参りたい。時間はかかるかもしれないが、継続して努力して参りたい。

(5) フッ化物洗口推進事業の支援について（長崎県歯科医師連盟）

- ・ 渋谷常任理事から説明

(中村知事 回答)

- ・ 各市町への財政支援については、完全定着に向けて平成30年度までの継続を検討している。
- ・ 中学校では平成29年度から4年間で完全実施を目指している。
- ・ フッ化物洗口事業は継続されないと意味がない。市町と十分相談しながら進めていく。

(6) 口腔保健センター障害者・休日歯科診療の委託について（マイナスシーリング）（長崎県歯科医師連盟）

・渋谷常任理事から説明

（中村知事 回答）

- ・マイナスシーリングについては、県の財政が逼迫しておりご理解をお願いしたい。
- ・口腔保健センターの巡回歯科診療車の車検費用は県費で対応したい。



(7) 県立こども医療福祉センター歯科室の充実について（諫早市歯科医師会）

・中村副会長から説明

（中村知事 回答）

- ・県立こども医療福祉センターで高次歯科医療を提供することは、人員の増員、機器の整備などが必要になり、現在の体制では難しい。
- ・諫早総合病院との連携で対応できないかなど、関係機関と相談していきたい。

約1時間の協議が終了し懇談会へと移り更に突っ込んだ意見交換を行った。

5. 閉 会 長崎県歯科医師連盟副会長 品川副会長



1月15日 中村法道知事へ次期県知事選推薦書を持参！
2月4日 中村知事三選果たす！



去る1月15日、宮口会長と田口理事長が県庁新庁舎の応接室に中村法道知事を訪れ、次期県知事選の「推薦書」を手渡ししました。中村知事からはお礼とともに、やり残した課題の解決に向け、努力していくとの決意を述べられました。

その後、2月4日に実施された「長崎県知事選」で見事三選を果たされました。

日歯連盟「時局講演会」

日 時：平成29年11月26日(日) 午後1時

場 所：歯科医師会館 1階大会議室

会 員 古 豊 育太朗 (長崎市)



東京都千代田区九段北の歯科医師会館1階大会議室において山田宏参議院議員、丸川珠代参議院議員、ジャーナリストの櫻井よしこ氏を招いての時局講演会が開催されました。今回は組織力強化の一環として、若手(20~40代)歯科医師や女性歯科医師の日歯連盟・都道府県歯連盟での将来的な活躍に期待して、連盟活動に理解があり、積極的に会務に参加

する会員を対象に意識の醸成を図ることを目的として開催され、全国から連盟役員を含む約300名が参加しました。長崎県歯連盟からは中村県歯連盟常務理事と39歳の私、古豊が出席しました。

最初に高橋英登会長より推薦候補の90%以上が当選した先の衆院選に対するお礼、日歯連盟の構成率を現状の79.5%から80%以上にする目標、構成割合の低い若手や女性に連盟に入会してほしい旨を話されました。



山田議員は、「歯科界が日本の明日を拓く」と題し、国民皆保険制度がこのままでは崩壊の危機にあると訴えた上で、口腔の健康から全身の健康につなげて無駄な医療費を減らすために国会議員で歯科口腔医療勉強会を立ち上げ、歯科保健の充実に関する緊急提言書を提出。骨太の方針を経て、次年度厚労省の算概算要求に盛り込まれたことを報告されました。

丸川議員は「2020東京オリンピック・パラリンピック成功に向けて」と題し、「国の政策がしっかりお口で食べて、栄養を摂取するという方向に向かっているように感じる」と歯科の現状を説明され、外来環などの施設基準として挙げられている口腔外バキュームが本当に必要なのかを厚生労働省に問い合わせていることや、2020年の東京オリンピック、パラリンピックの選手村にポリクリニックを設営して歯科診療室を設置予定であることを話されました。



櫻井氏は、「日本国憲法とこれからの日本」と題し、かかりつけ歯科医と共に106歳の母親を経管栄養から口からの食事に切り替えていったことで口から食べることの重要性を認識したことを話した後、本題で、北朝鮮などの時事問題、憲法改正の必要性について講演されました。

第48回衆議院議員総選挙における長崎県4選挙区の結果

去る10月22日(日)に投開票がありました第48回衆議院議員総選挙に際し、郡市歯科医師会からの申請を受け本連盟が推薦しました候補者に対し、ご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

小選挙区における本連盟推薦候補者は、全選挙区で当選との結果となりました。(第1区の富岡 勉議員は九州ブロック比例で復活当選)

以下に全選挙区の結果を掲載いたします。



(第1区 富岡 勉 議員)



(第2区 加藤 寛治 議員)



(第3区 谷川 弥一 議員)



(第4区 北村 誠吾 議員)

第 一 区		当 選	90,569票	西岡 秀子	希望・新人	
	推 薦	比当選	80,049票	富岡 勉	自民・前職	九州ブロック比例で復活当選
			16,011票	牧山 隆	共産・新人	
第 二 区	推 薦	当 選	97,874票	加藤 寛治	自民・前職	
			57,538票	山口 初實	希望・新人	
			15,261票	近藤 一字	共産・新人	
第 三 区	推 薦	当 選	83,992票	谷川 弥一	自民・前職	
			35,554票	末次 精一	希望・新人	
			12,638票	石丸 完治	共産・新人	
			8,469票	口 石 竜三	維新・新人	
第 四 区	推 薦	当 選	73,899票	北村 誠吾	自民・前職	
			61,137票	宮島 大典	希望・元職	
			10,459票	石川 悟	共産・新人	

2017年12月19日 Vol.37



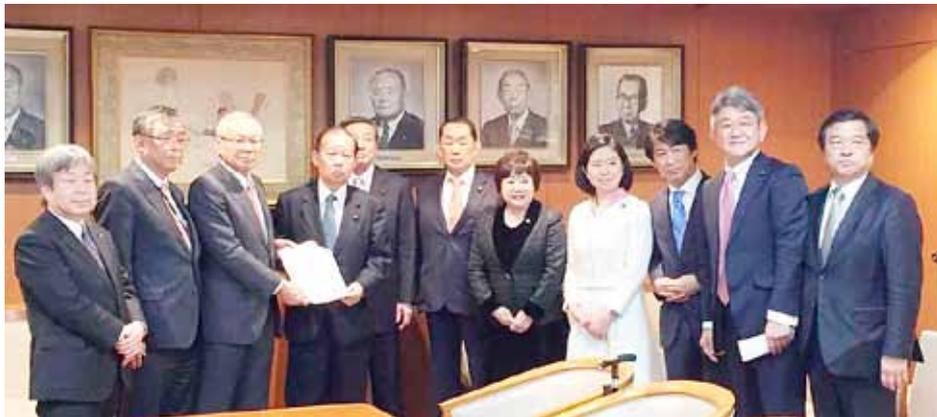
参議院議員

石井みどりNEWS



診療報酬改定率が決定！ 歯科改定財源「200億円」を突破！！

【本体+0.55 薬剤・材料-1.74 ネット（全体）-1.19】			
	医科	歯科	調剤
改定率	+0.63%	+0.69% (207億円)	+0.19%
配分比率	1	1.1	0.3



12月18日、診療報酬改定率が決定されました！

診療報酬改定の本体部分プラス改定の要請に当たっては、12日に、歯科界の職域代表議員として、日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会 三会長とともに、岸田文雄 政調会長、二階俊博 幹事長、吉田博美 参議院自民党幹事長に面会しました。

今回の改定においてはまず、いかに医療界全体で本体プラス改定を勝ち取るか、その後はその中で歯科がプレゼンスを示し、いかに財源「200億円」を超えることができるかが課題でした。

私は国政の場において、「歯科の技術料評価が低廉であり、適正な評価がなされるべき」という点を繰り返し主張してまいりました。その一環として、12月12日には、国民歯科問題議員連盟 事務局長として、議連幹部とともに菅義偉官房長官に決議申入れを行いました。

議連決議では、歯科の技術料の占める割合が高く、公平な技術料評価の観点から「医科対歯科」の改定率の割合を「1対1.1~1.2」とすべきことを強く主張しました。

診療報酬改定においては、医・歯・薬それぞれの団体がしのぎを削り、いかに各団体が職域代表議員を活用するかが、それぞれの業界にとって実りある成果を得られるかの分水嶺となっています。歯科関係議員のみならず、一般議員の先頭に立ち、歯科界唯一の職域代表議員として、これからもその使命を全うすべく、活動してまいります。

参議院議員 石井みどり事務所 (自由民主党東京都参議院比例区第二十九支部 発行)

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館403号室

電話番号： 03-6550-0403

FAX：03-5512-2206

e-mail： midori_ishii@sangiin.go.jp

HP：http://www.ishii-midori.jp/

2017年12月22日 Vol.38



参議院議員

石井みどりNEWS



職域代表として歯科界の悲願を達成！ 歯科口腔保健推進室 省令室化を実現！！



12月22日、平成30年度歯科保健関連予算が確定しました。

私は現在、自民党厚生労働部会長代理を務めており、厚生労働分野における予算要望、そして税制改正要望をとりまとめ、「自民党としての意見」を政府に上げる立場にあります。

11月30日に開催された厚生労働部会において、「平成30年度党予算編成大綱 厚生労働部会案」が提示され、厚労省と調整し、素案には入っていなかった「歯科医療の確保・口腔保健の推進」を盛り込むことができました。

11月21日、私が事務局長を務めております、自民党最大の議員連盟である「国民歯科問題議員連盟」総会を開催し、平成30年度診療報酬改定・歯科関係予算について議論を行い、多くの国会議員に歯科関係予算確保の重要性につき理解いただき、応援発言が相次ぎました。

その結果、平成30年度歯科保健関連予算の前年比増額、さらに歯科口腔保健推進室の省令室化による予算増額を実現することができました！

歯科口腔保健法を根拠として、厚労省医政局歯科保健課内に、「歯科口腔保健推進室」を設置し、さらに、2015年度より、厚労省における「訓令室」に位置づけたことは、既報の通りです。

私はかねてより、歯科口腔保健推進室を上位の「省令室」とし、さらに歯科技官を高位職とすべく、長年活動を行ってまいりました。このたび、ついに歯科口腔保健推進室を「省令室」とし、歯科口腔保健推進室長を歯科技官3人目の「省令職」として実現することができました！これを契機として、さらなる高位ポストの獲得、そして歯科行政の発展に向けて、活動してまいります。

参議院議員 石井みどり事務所 (自由民主党東京都参議院比例区第二十九支部 発行)

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館403号室

電話番号： 03-6550-0403

FAX：03-5512-2206

e-mail： midori_ishii@sangiin.go.jp

HP：http://www.ishii-midori.jp/

2018年 1月 1日 Vol.39



参議院議員

石井みどりNEWS



新年所感 ～ 年頭に当たって ～



新年明けましておめでとうございます。本年も皆さま方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。昨年は歯科界にとって実り多い年となりました。

平成30年度診療報酬改定においては、「医科：歯科＝1：1.1」を死守し、歯科改定財源については+0.69%、財源207億円を勝ち取ることができました。

大臼歯 CAD-CAM 冠が期中導入され、保険適用されることが承認されました。

歯科口腔保健推進室については「省令室」とし、実に53年ぶりに、室長を歯科技官3人目の「省令職」として実現することができました。

平成30年度歯科保健関連予算についても、前年比増額を実現することができました。

私の職域代表としての使命の一つである「生涯を通じた歯科健診の義務化」は、歯科界全体の悲願であります。歯科健診の義務化に向けては、労働安全衛生法改正による労働者の一般健診への歯科健診導入や、特定健診への歯科健診の導入、産業歯科医の身分法制化などを目指しています。

遅々とした歩みではありますが、「半歩でも前へ」という気概で取り組んできました。

本年も引き続き、成人期以降の歯科健診の義務化に向けて尽力してまいります。

初当選後、本年で11年目を迎えました。

この11年、思い起こせば、様々な歯科関連法案の成立に取り組んでまいりました。

これからも、現場の歯科医師の先生方の活動範囲をさらに拡大させ、公に資する歯科医師の活動を国として位置づけるべく、国政の場で活動してまいります。

本年も変わらぬご指導・ご支援を心からお願い申し上げます。

参議院議員 石井みどり事務所 (自由民主党東京都参議院比例区第二十九支部 発行)

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館403号室

電話番号： 03-6550-0403

FAX：03-5512-2206

e-mail： midori_ishii@sangiin.go.jp

HP：http://www.ishii-midori.jp/

会員の入会（平成29年9月～平成29年12月）

入会年月日	郡市会	氏名	備考
29.12.9	西 彼	たか はし ひで たか 高 橋 英 敬	

長崎県歯科医師連盟の動き（平成29年9月～平成29年12月）

9月11日	前田哲也県議県政報告会(長崎市)	出席者：宮口会長他6人
9月19日	連盟だより編集会議	出席者：宮口会長他7人
9月22日	日歯連盟臨時評議員会(日歯)	出席者：宮口会長
9月29日	富岡 勉拡大選挙対策会議(長崎市)	出席者：(会長代理)事務局長
10月5日	富岡 勉選挙対策本部神事及び事務所開き(長崎市)	出席者：宮口会長
10月6日	自民党県連国会議員・県議会議員・支部長合同会議(長崎市)	出席者：田口理事長他1人
10月10日	富岡 勉祈願祭(長崎市)	出席者：宮口会長
10月10日	富岡 勉出陣式(長崎市)	出席者：事務局長
10月10日	富岡 勉個人演説会(長崎市)	出席者：宮口会長他
10月13日	自民党安倍総裁長崎県街頭演説会(長崎市)	出席者：宮口会長他
10月17日	自由民主党長崎支部主催 個人演説会(長崎市)	出席者：田口理事長他2人
10月18日	富岡 勉女性集会(長崎市)	出席者：事務局2人
10月19日	茂木敏充経済再生担当大臣街頭演説会(長崎市)	出席者：田口理事長
10月20日	富岡 勉街頭大決起集会(長崎市)	出席者：田口理事長
10月27日	連盟常任理事会(中村法道県知事との懇談会)	出席者：宮口会長他3人
11月16日	連盟監査会	出席者：宮口会長他4人
12月26日	日歯連盟「時局講演会」(日歯)	出席者：中村常務理事他1人
12月4日	富岡 勉選挙反省会・懇親会(長崎市)	出席者：田口理事長他1人

「会員の声」原稿募集

本誌では、会員からの投稿欄「会員の声」の原稿を募集しておりますので、建設的な意見・要望などをお寄せください。

投稿規定は次のとおりです。

◇原稿の採否は編集兼発行人にご一任ください。

なお、掲載の採否のお問い合わせはご遠慮ください。

また、編集及び校正については編集兼発行人にご一任ください。

◇原稿には表題を必ず明記してください。

◇匿名での原稿は受付をいたしません。

◇投稿者は氏名・年齢・所属郡市会を明記し、県歯連盟宛に郵送又はFAXでお寄せください。

編集あしがき

皆さま、あけましておめでとうございます、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

歯科界においては、平成30年度診療報酬のプラス改定や厚労省「歯科口腔保健推進室」の省令室への昇格など、日歯連盟が関与する活動においても明るい兆候がみられ、大変喜ばしく思っています。

私も昨年7月より連盟理事として初めて加わらせていただきましたが、初めての活動は、私にとって新たな飛躍の年となるような気がいたします。「何か大きな成長はあったか？」自問自答しながら自分自身を見つめ直す良い機会に成ると思います。「成功は自信に、失敗からは成長が生まれる」を抱負に、今後も歯科医師連盟のお役に立てるよう今年1年頑張ってお参りたいと思います。

(南 幸治)